

2016年9月14日

公益社団法人日本写真家協会は「笹本恒子写真賞」を創設します。

公益社団法人日本写真家協会は、名誉会員笹本恒子さんの102歳を記念して若い写真家の写真活動を助成するために「笹本恒子写真賞」を設けます。

笹本恒子（ささもと・つねこ）さんは1914（大正3）年東京生まれ。画家を志してアルバイトとして東京日日新聞社（現毎日新聞社）で、紙面のカットを描いていたところ、1940（昭和15）年財団法人日本写真協会の誘いで報道写真家に転身。日独伊三国同盟の婦人祝賀会を手始めに、戦時中の様々な国際会議などを撮影。戦後はフリーとして活動をし、安保闘争から時の人物などを数多く撮影する。JPS 名誉会員。

現在102歳で、写真集の出版、執筆。写真展、講演会等で活躍されています。

受賞歴：1996年東京女性財団賞、2001年第16回ダイヤモンド賞、2011年吉川英治文化賞、日本写真協会功労賞、2014年ベストドレッサー賞特別賞受賞。

2016年10月23日にはアメリカのルーシー財団から、写真界のアカデミー賞とも呼ばれる「ルーシー賞（Lucie Award）」のLifetime Achievement 賞を受賞されることが決まっています。

公益社団法人日本写真家協会「笹本恒子写真賞」について

趣 旨：この度公益社団法人日本写真家協会は、名誉会員笹本恒子さんの102歳を記念して、若い写真家の写真活動を助成するために「笹本恒子写真賞」を設ける。

対 象：プロ写真家として3年以上の実績をもち、現在活動中の写真家に対し、その活動を助成するために「笹本恒子写真賞」を設ける。
対象とする写真作品は、過去3年間でわが国の社会状況を鋭く捉え、出版および写真展等で広く公開し、社会に大きな影響を与え、写真表現の力を公衆に知らしめた写真家に「笹本恒子写真賞」を贈る。

選考方法：選考委員3名で構成する「笹本恒子写真賞」選考委員会を日本写真家協会内に設けて行う。

選考委員会：日本写真家協会会長を委員長に、正会員または会員外の写真家又は有識者から2名の3名で構成する。

選考方法：毎年11月に委員会を設置し、写真に関わる有識者若干名にアンケート用紙を送り、過去3年間でわが国の社会状況を鋭く捉え、出版および写真展等で広く公開し、社会に大きな影響を与え、写真表現の力を公衆に知らしめた写真家2名を選出していただき、3月に「笹本恒子写真賞」選考委員会を開き、受賞対象者1名を選び発表する。

表彰並びに写真展：表彰は毎年12月初旬の日本写真家協会相互祝賀会で表彰する。

賞金は30万円。（手取り）、記念品副賞として、写真集の発行または写真展を都内の写真展会場で催す。

